

# クビアカツヤカミキリの 情報提供にご協力をお願いします。

この虫は「クビアカツヤカミキリ」という**特定外来生物**で、  
**幼虫が** サクラやモモの樹を枯らします！！



幼虫のフン



↓こんな大きさ  
(体長2.5~4cm)



写真提供：埼玉県環境科学国際センター

# 被害がひろがると・・・

- 枯れ倒木や落枝の危険があります <学校・公園・並木道>
- 付近に被害がひろがるのを予防で伐採が必要です
- ①モモ・ウメの果樹園 甚大な農業被害
- ②公園・街路樹・学校 「お花見」ができなくなります
- ・文化財 景観が悪くなります



幼虫は木のなかで2年間成長します。  
そのあいだに穴だらけにします。

このようになる前に  
徳島県サステナブル社会推進課にご連絡下さい  
<088-621-2263>  
または、お住まいの自治体市町村窓口にご連絡ください

・発見日時、発見場所、発見時の状況をお知らせください。  
可能であれば、写真を撮影してください。  
クビアカツヤカミキリは死んでいる場合であっても見つけた場  
合は連絡してください。



幼虫が排出したフラス

まちがしやすいフラスの例



他種のフラス

繊維状の木くずが多く見られる

## ひろげない！ クビアカツヤカミキリ

公園、学校、庭、果樹園などでフラスや成虫を見かけたら、自治体の環境を  
扱う部署または緑地、農地を扱う部署にご一報下さい。  
また環境省地方環境事務所でも相談・報告を受けつけています。

- クビアカツヤカミキリは法律で指定されている「特定外来生物」  
です。無許可で生きたままの持ち運びや飼育は違法です。

# クビアカツヤカミキリの防除方法

## ◆ 成虫の対策 ◆

- ✓ 発生時期となる6月下旬から園地内をよく見廻り、発見次第**捕殺**します。梅雨時期は主幹下部でよく見付き、降雨のあった翌日の晴天日に発生の多い傾向があります。梅雨明け後は動きが素早くなり、日中は樹冠内に潜んでいます。

## ◆ 幼虫の対策 ◆

- ✓ フラス(木くず)が排出される時期に、排出口からドライバーなどで樹皮を剥がしながら食入孔を探り、幼虫を発見次第、刺殺します。
- ✓ 樹皮を剥がした部分には、保護資材を塗布します。
- ✓ 食入孔を探索しても幼虫が奥深くにいるなどで発見できないときは、排出口にエアゾール剤(ロビンフッド)のノズルを突っ込み薬液を噴射します。



幼虫の刺殺



エアゾール剤の樹幹内噴射

## ● 効果的な方法を組み合わせることで確実に防除しましょう

- ① 幼虫の堀取り・針金などでの刺殺
- ② ネット等巻き付けによる飛散防止  
ほかの場所にひろげない
- ③ フラス排出孔への農薬注入
- ④ 樹幹への農薬の散布  
農薬は登録の使用法を守りましょう
- ⑤ 被害木の伐採、処分
- ⑥ 切り株の封鎖



伐採した被害樹の切株  
右は悪い事例、抜根できない場合は、左のように地際で切断し、シート等で被覆する。